

資料

清水町議会
厚生文教常任委員会所管事務調査

「ごみの広域化について」

平成 30 年 11 月 26 日

町民生活課提出

資料 1

□広域化により新たにかかる経費の一覧(試算)

項目	金額 A	平成30年11月現在 B	比較 (B-A)	説明
十勝圏複合事務組合	9,900 万円	12,200 万円	2,300 万円	加入時負担金
	1,900 万円	2,900 万円	1,000 万円	年間分担金
清掃センターにかかる経費	1,500 万円	1,500 万円	万円	中継方式(コンテナ・搬送車購入)
収集委託経費	1,200 万円	1,800 万円	600 万円	収集車両1台(ステーションごみの増による収集増に対応するため)

□広域化の前後で変わる経費の比較

	H28年度 A	H31年度以降 (広域化) B	平成30年11月現在 C	比較(広報) (B-A) D	比較(今回) (C-A) E	増減 (E-D)	説明
収集委託費	4,100 万円	5,300 万円	5,900 万円	1,200 万円	1,800 万円	600 万円	車両1台増
管理委託費	4,300 万円	3,600 万円	3,800 万円	▲ 700万円	▲ 500万円	200 万円	委託体制見直し
施設維持費	6,300 万円	500 万円	500 万円	▲ 5,800万円	▲ 5,800万円	万円	
分担金 負担金	万円	2,700 万円	4,000 万円	2,700 万円	4,000 万円	1,300 万円	加入時分担金(15年間分の分割試算)+年間負担金
起債(借入) 償還金	2,000 万円	2,000 万円	2,100 万円	万円	100 万円	100 万円	リサイクル施設の整備 中継方式の積替え施設整備 積替車両購入
歳入	▲ 3,100万円	▲ 2,700万円	▲ 2,900万円	400 万円	200 万円	▲ 200万円	
合計	1億3,600万円	1億1,400万円	1億3,400万円	▲ 2,200万円	▲ 200万円	2,000 万円	



※H29年12月現在の概算額

- 年間分担金 1千900万円
- 加入時負担金 9千900万円

加入時負担金は、既に共同処理を行っている自治体と同様に、くりりんセンター施設整備費等を、新規加入自治体が施設の使用予定年数に応じて負担するものです。

■新たに負担金が発生

広域処理で変わる経費の比較

□広域化により新たにかかる経費の一覧（試算）

項目	金額	説明
十勝圏複合事務組合	9,900万円	加入時負担金
	1,900万円	年間分担金
清掃センターに係る経費	1,500万円	中継方式経費（コンテナ・搬送車購入） ※中継方式の説明は、5ページ「事業者の方へ」を参照
収集委託経費	1,200万円	収集車両1台（ステーションごみの増による収集増に対応するため）

■広域処理後は年間2千万円以上の経費削減に
くりりんセンターまでの運搬時間と距離の増加により新たな収集車両を確保しなければなりません。また、既存の焼却・破砕設備の施設解体、リサイクル施設への転用経費等が新たに見込まれます。

一方、廃棄物の広域処理や、リサイクル施設の整備に対する国からの循環型社会形成推進交付金に加え、委託体制の見直しや既存施設の維持管理費の大幅な削減も実現されます。

これにより年平均で2千万円以上の経費削減が見込まれます。



□広域化の前後で変わる経費の比較

	H 28 年度	H 31 年度以降 (広域後)	比較	説明
収集委託費	4,100万円	5,300万円	1,200万円	車両1台増
管理委託費	4,300万円	3,600万円	▲700万円	委託体制見直し
施設維持管理経費	6,300万円	500万円	▲5,800万円 ▲5,700万円	清掃センターの維持費及び修繕費
負担金分担金	0円	2,700万円	2,700万円	加入時負担金（15年間の分割試算）+年間分担金
起債（借入）償還金	2,000万円	2,000万円	0円	リサイクル施設の整備 中継方式の積替施設整備 積替車両購入
歳入	▲3,100万円	▲2,700万円	400万円	
合計	1億3,600万円	1億1,400万円	▲2,200万円 ▲2,100万円	

資料 2

【加入負担金、年間分担金の試算に用いた数値】

〇24年度に作成した「23年度実績」に基づく、数値予測によるもの

単位:t

		H29	H30	H31	H32	H33	H34
可燃ごみ	家庭系	1,020	1,003	985	968	949	949
	事業系	588	575	562	549	536	536
合計		1,608	1,578	1,547	1,517	1,485	1,485
不燃ごみ 大型ごみ	家庭系	135	133	130	128	126	126
	事業系	55	54	53	52	51	51
合計		190	187	187	187	187	187

A

〇実際の数値

		H29	B/A比率
可燃ごみ	家庭系	1,225	
	事業系	673	
合計		1,898	118%
不燃ごみ 大型ごみ	家庭系	393	
	事業系	36	
合計		429	226%

B

4款	衛生費	2項	清掃費	2目	清掃センター費																																				
事務事業名	清掃センター管理運営業務			事業費	74,558,936円																																				
担当課(係)	町民生活課 清掃センター管理係																																								
事業目的	家庭から排出された廃棄物の焼却・破碎・再資源化等を行うことにより、廃棄物を最小限に抑え、資源の有効活用を図る事を目的として清掃センターの管理運営を行う。																																								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系、事業系の一般廃棄物を受け入れ、焼却、破碎、埋立処分を行う。 ・回収された資源ごみは中間処理した後、日本容器包装リサイクル協会へ再商品化を委託又はリサイクル業者に有償で引渡しを行う。 ・平成31年度からの広域処理参画と既存焼却施設のリサイクル施設転換整備に向け、循環型社会形成推進地域計画の策定と一般廃棄物処理基本計画の見直しを実施した。 																																								
事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの総量は、近年5年間では横ばい傾向にある。 ・ごみの分別については、ほぼ定着してきている。 																																								
<p>清掃センターごみ受入実績の推移 単位：t</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃ごみ</td> <td>2,025.07</td> <td>1,954.12</td> <td>1,971.42</td> <td>1,935.32</td> <td>1,898.37</td> </tr> <tr> <td>不燃ごみ</td> <td>452.68</td> <td>381.36</td> <td>402.09</td> <td>504.03</td> <td>393.86</td> </tr> <tr> <td>大型ごみ</td> <td>30.67</td> <td>29.19</td> <td>29.21</td> <td>29.20</td> <td>35.85</td> </tr> <tr> <td>資源ごみ</td> <td>684.54</td> <td>643.60</td> <td>609.46</td> <td>600.84</td> <td>585.13</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,192.96</td> <td>3,008.27</td> <td>3,012.18</td> <td>3,069.39</td> <td>2,913.21</td> </tr> </tbody> </table>						区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	可燃ごみ	2,025.07	1,954.12	1,971.42	1,935.32	1,898.37	不燃ごみ	452.68	381.36	402.09	504.03	393.86	大型ごみ	30.67	29.19	29.21	29.20	35.85	資源ごみ	684.54	643.60	609.46	600.84	585.13	合計	3,192.96	3,008.27	3,012.18	3,069.39	2,913.21
区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																				
可燃ごみ	2,025.07	1,954.12	1,971.42	1,935.32	1,898.37																																				
不燃ごみ	452.68	381.36	402.09	504.03	393.86																																				
大型ごみ	30.67	29.19	29.21	29.20	35.85																																				
資源ごみ	684.54	643.60	609.46	600.84	585.13																																				
合計	3,192.96	3,008.27	3,012.18	3,069.39	2,913.21																																				

4款	衛生費	2項	清掃費	2目	清掃センター費
事務事業名	清掃センター施設補修事業			事業費	4,994,231円
担当課(係)	町民生活課 清掃センター管理係				
事業目的	施設の補修工事を行うことにより延命化を図り、もって廃棄物の適正な処理と廃棄物行政の推進を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・灰出しコンベア底板ほか修繕及び車両修繕 3,428,231円 ・焼却炉内部補修工事 1,566,000円 				
事業効果	平成31年度の広域処理参画を控え、施設補修は必要最小限にとどめているが、適正な廃棄物処理を図ることができた。				

4款	衛生費	2項	清掃費	1目	清掃費
事務事業名	し尿収集及び運搬				
担当課(係)	町民生活課 生活環境係				
事業費	11,476,483円		特定財源	10,525,593円	
事業目的	事業内容			事業効果	
し尿の収集運搬により、公衆衛生を確保する。	浄化槽又は下水道を利用していない世帯、仮設トイレ等のし尿を収集し、十勝環境複合事務組合の中島処理場へ運搬。			公衆衛生を確保した。 平成25年度実績 し尿 2,666件 2,477KL ※収集は50L単位のため、中島処理場の受入量とは一致しない。	

4款	衛生費	2項	清掃費	1目	清掃費
事務事業名	十勝環境複合事務組合負担金			事業費	17,083,000円
担当課(係)	町民生活課 生活環境係				
事業目的	事業内容			事業効果	
十勝環境複合事務組合に対して、し尿等処理経費を負担する。	十勝環境複合事務組合構成市町村で、必要経費を利用量と均等割で負担する。			し尿(2,395.1KL)、浄化槽汚泥(1,566.4KL)の処理により、公衆衛生の確保が図られた。	

4款	衛生費	2項	清掃費	2目	清掃センター費
事務事業名	清掃センター管理運営業務				
担当課(係)	町民生活課 清掃センター				
事業費	71,737,437円		特定財源	20,503,749円	
事業目的	事業内容			事業効果	
廃棄物処理及び処理に伴う環境の影響を最小限に抑える事を目的に、清掃センターの管理運営を行なう。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系、事業系の一般廃棄物を受け入れ、焼却、破碎、埋立処分を行う。 ・回収された資源ごみは中間処理した後、日本容器包装リサイクル協会へ再商品化を委託又はリサイクル業者に有償で引渡しを行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの有料化以降、ごみの総量は増加傾向にある。 ・ごみの分別については、ほぼ定着してきている。 	
清掃センターごみ受入実績 (H22~H25の4年間) (単位：t)					
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
可燃ごみ受入量	1,892.94	1,998.41	2,044.21	2,025.07	
不燃ごみ受入量	359.17	382.32	342.65	452.68	
大型ごみ受入量	37.75	31.06	25.84	30.67	
資源ごみ受入量	796.54	663.69	669.29	684.54	
合計	3,086.40	3,075.48	3,081.99	3,192.96	